

生活道路の安全確保に向けた取組(緑町地区)①

○当該箇所は、病院・保育園・老人ホーム等の施設があり、歩行者の通行が多いことから、阿賀野市では、地域道路の安全確保のため、ゾーン30の導入や安全対策の実施を検討しました。

○取組の経緯

H28. 3:生活道路「対策エリアの登録」
H28. 8:ビッグデータ分析結果の提供
H28.10:生活道路対策推進会議開催
H28.11:現地点検
H29. 2:地元説明会開催
H29. 3:主な実施方針とりまとめ
H29. 9:対策実施

○関連計画、推進体制等

＜推進体制組織名＞

・阿賀野市生活道路対策推進会議をH28年度に設置。

＜構成メンバー＞

- ・新潟国道事務所
- ・阿賀野市(道路管理者)
- ・新潟県警阿賀野警察署
- ・阿賀野市教育委員会
- ・各自治会
- ・市内各小学校

○現地状況

■写真①



みどり保育園

■写真②



○エリア図

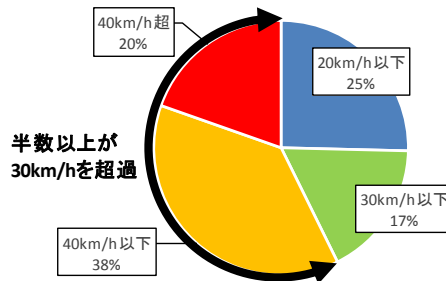


生活道路の安全確保に向けた取組(緑町地区)②

○物理的デバイスによる効果的な対策を立案(対策実施後はビッグデータによる効果検証を行う)

○エリア内の交通状況

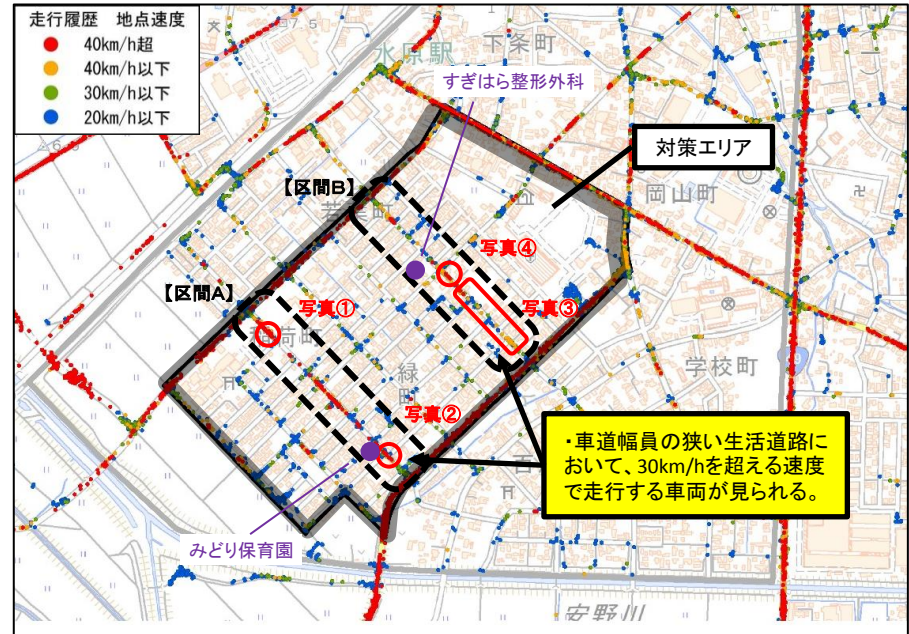
- ・阿賀野市緑町の、JR水原駅前の地区。地区内には病院、診療所、保育園、介護施設などがあり、歩行者の通行が多い。
- ・保育園前道路は、改良工事後、抜け道として朝夕に多くの車両が通行する。また、エリア内では水原駅への送迎車両の抜け道利用が多い。



- みどり保育園前の市道を通過する車両の通過速度の割合
- ・危険挙動は、対象エリアの外周道路で多く見られるが、エリア内では少ない傾向。

○データ提供

- ・ビッグデータより速度の高い車両の通過が多い区間を特定



○対策計画

- ・特定した区間について対策計画を立案(車両の速度低下・交差点注意喚起・歩行者通行区間の明確化を図る)

【区間A】



【区間B】



① 狭窄設置＋歩行者通行帯カラー舗装 ② 狭窄設置＋歩行者通行帯カラー舗装

③ 車線幅員減少＋路肩カラー舗装 ④ 交差点カラー舗装